

# 令和4年度の財政状況をお知らせします

財政課 ☎ 829-1126

令和5年3月31日時点の金額です。最終的な金額(決算額)ではありません。

## 一般会計

福祉サービス、道路や公園の建設、環境衛生など、市が行う事業の中心となる部分の会計です。市税などが主な財源になっています。

予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
2,537億200万円	2,055億1,100万円	81.0%	2,043億2,000万円	80.5%

## 特別会計

国民健康保険や介護保険事業、駐車場事業など特定の収入(保険料や使用料など)で、その事業の支出を賄う会計です。

予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
1,175億2,900万円	986億5,100万円	83.9%	1,023億3,900万円	87.1%

## 企業会計

事業の収益(使用料など)で支出を賄い、経営を行う独立採算制の会計です。

**収益的収入と支出** 経営活動により発生する収益と、それに対応する費用

**資本的収入と支出** 将来の経営活動に備えて行う建設改良費や企業債償還金などの支出と、その財源となる収入

水道事業会計	区分	予算額	執行額
	収益的収入	111億1,600万円	111億1,200万円
	収益的支出	99億9,400万円	98億7,400万円
	資本的収入	10億9,700万円	9億5,000万円
資本的支出	71億1,700万円	61億5,900万円	

下水道事業会計	区分	予算額	執行額
	収益的収入	126億1,300万円	125億5,200万円
	収益的支出	114億4,800万円	112億5,600万円
	資本的収入	76億6,000万円	55億100万円
資本的支出	125億1,900万円	98億4,700万円	

(市債の状況)

## 市債

市債とは、長期間使う学校や道路などの建設や、災害復旧工事などを行うための借金のことです。市債を財源として事業をすることで、将来の住民にも負担してもらうことができ、世代間で公平な負担ができます。

区分	令和4年度末市債残高見込み
一般会計	2,767億7,600万円
特別会計	134億9,100万円
企業会計	684億700万円
合計	3,586億7,400万円

## その他の財政状況

### 市の財産

学校の土地や建物、公園の土地や遊具などの財産があります。

合計
7,267億3,600万円

### 市民の税負担

令和5年3月31日時点の長崎市人口・世帯数で算出しています。

市民の税負担(予算額)	
135,242円/人	262,555円/世帯

### 一時借入金の状況

一会計年度内で、収入と支出の一時的な不均衡による支払資金の不足を補うための一時的な借入金です。

令和5年3月31日時点の一時借入金はありません(全会計合計)。

## 今後の財政運営

景気の回復や大型事業の効果から市税収入は増加するものの、新東工場の建設などの投資的経費が高い水準で推移することや、人口減少に伴う地方交付税の減少などにより、引き続き厳しい財政運営が見込まれますが、業務の効率化や新しい公共の取り組みなど、戦略的な収支改善に継続して取り組むことで、将来にわたり持続可能な財政運営を行ってまいります。